

令和 5 年度 第 1 回子ども・子育て審議会会議録

日時：令和 5 年 12 月 13 日(水) 午後 2 時開会

場所：豊能町役場 2 階 大会議室

出席者：委員 鈴木 正敏
委員 新倉 英俊
委員 木田 正裕
委員 加茂 直美
委員 大家 雅代
委員 門 節子
委員 大橋 千晴
委員 北谷 真理
委員 関 宗樹

事務局：こども未来部長	仙波 英太郎
こども育成課長	高田 浩史
認定こども園豊能町立ふたば園長	鳴海 明美
こども育成課主査	小坂田 典子
こども育成課主事	岡 篤史

傍聴者 6 名

開会

◎こども未来部長挨拶

◎委嘱状交付について

任期：令和 5 年 6 月 1 日から令和 7 年 5 月 31 日まで（2 年間）

◎審議会会長・副会長の選任

会長 鈴木 正敏

副会長 加茂 直美

◎議題

- (1) 第 3 期豊能町子ども・子育て支援事業計画策定の諮問について
- (2) 第 2 期豊能町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
- (3) 第 3 期豊能町子ども・子育て支援事業計画の策定について

◎議事

傍聴の許可

議題（１） 第３期豊能町子ども・子育て支援事業計画策定の諮問について（事務局説明）

議題（２） 第２期豊能町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について（事務局説明）

○委員

ときわ台の住宅が古い住宅が建て替えて新しい住宅が結構増えてきて、子どもが３人４人という家庭が多い。環境もよく、周りの家庭状況と同じように３人、４人になる方が多いように感じています。

○委員

公園とか多く感じます。遊具が古くなっているように思います。子どもが増えているように思います。

○委員

実感として、希望ヶ丘も新しい家が建ち始めています。子どもが増えていくと言うのがあるのかなと思います。学年ごとに、もっと急激に減るのかなと思っていたが、そこまで急激に減っていないとは感じています。

○会長

少しずつ改善の兆し、明るい感じがあり、それに対して施策の方も、十分手当が出来ているという報告だったと思います。今の皆さんの実感というのも含めまして量の見込みや提供量を考えてすすめていくというのか、この計画の中で行うことになっていくと思います。

議題（３） 第３期豊能町子ども・子育て支援事業計画の策定について（事務局説明）

○委員

量が多いアンケートを見ていて、WEBの方でやりたいだろうなと思うのです。集計が大変だろうと思います。両方（紙・WEB）でやることはできないのですか。

紙面とWEBの対応も、QRコードの人がいたら、好きな方でやって、回収率も増えるかなと思った次第です。

○こども育成課長

アンケート調査の趣旨としては、無記名で回収します。２度３度出される方はいらっしゃらないとは思いますが、そういうことがあった時に、統計上に少し不具合が出る可能性があります。

○会長

開発の方の費用と、手で集める費用とを考え、あんまり変わらないという事です。

配布数もそんなに多くはないので、手で集計しても大丈夫ですね。

確かに携帯で80問はしんどいというのがあります。また、園と学校の方で、配っていただく、回収していただく手間がありますが、今回は紙で配布予定です。

他に委員の皆様方から、何かございますか。

○委員

孫はふたば園でお世話になっています。今まだ、４歳です。小学校へ行くまであと２年あります。

○委員

資料をいただいてアンケートを見て、非常に数が多い事、もう一つ、この間で、何番を答

えた人は何番に行くというのがたくさんあり、難しいアンケートでした。

国とか府の、型があって、それが基本ということなので減らすことが出来ないで、どうしようもないということですね。

このアンケートにもありましたが、今日うちの孫が急に熱を出して、保育所に預けられないので、我が家に来ています。この会議があるので、89歳のおばあちゃんに預けてきました。

病気になる時は急です。預かる方にしても、熱はあるけれど、どんな病気かわからないまま預からないといけないから大変なのはわかるのです。わかりますが、その日だけ預けて、仕事の都合をつけるために、今日1日預かって欲しい時、そういう所があったらと感じています。

○会長

豊能町は祖父母がサポートしてくださる環境にいる方も多いので、何とかなるところがありますね。

○委員

アンケート読んでいて非常に重いなと思いました。

私は、行政にいたので、本当に率直に言うと、先ほどの委員とは逆になります。

定期的に使うサービスなら行政は整備しやすいと思います。ところが今日1日だけとか今日の2時間だけと言われると、行政が整備するのは非常につらいという率直な思いを持ちました。定期的に繋がるならば整備するのがいいだろうけれど、今日1日だけとか、この時間だけと言われたら、行政は辛いと思います。

○会長

確かにそのために予算立てをするのは非常に苦しいですね。人件費、それから場所、特に看護師が足りないとか、保育士が足りないというところで、その整備が非常に大変だということです。どこの自治体も、困っているところです。それもありながら、整うようにすすめていくという事ですね。

○委員

大きな市で、病院とかがあるところは、できるという思いもするのですが、町では大変かな。という思いを持ちました。

○会長

スケールメリットが、全然ないので、近隣(市町村)と協力というところですね。

○委員

保護者の方から、いつ、ひかり幼稚園と吉川保育所が、一緒になるのかということをとて心配されていて、よく尋ねられます。確実なところで返事ができない状態なので、今日はひかり幼稚園のPTA副会長に来てもらっているのですが、この委員会に出ていただいて、状況はわかっていただけたかなと思います。

資料6—2の、計画の対象期間が令和7年から令和11年度になっているのです。この後、新施設開設っていう事ですか。

○こども育成課長

この計画期間の5年間は決まったものです。西地区の一元化とはまた全く別の話と考えていただいて、この5年間の中に、西地区の民営化の話が入り、予定では令和9年度に実施予定です。

○会長

計画の中に、入れ込みながら、計画の一番大事な量の確保ですね。待機児童がかなりいた

時にきちんとした量を確保することを考えるというところが非常にありました。民営化したり統廃合したりという計画があったとしても、子どもたちの居場所やサービスが提供されるということが盛り込まれないといけない。ということがあります。

先ほどの報告からすると、子どもの人数の減り方が緩やかになっています。豊能町としては同じ計算をしていくのではなく、少し上向きにして余裕をもって計画をするという事も必要かと思います。それにあわせて(民間が)応募してくださる時の仕様の在り方に、子どもの人数が底を打って上がるかもしれないという辺りを予想して、仕様を作っていくといけないですね。

(新施設を)作りました、足りませんでした。にならないように来年度の会議で計画を立てていくことになると思います。

今の元気な明るい3園の雰囲気そのまま引き継いで、続けていきたいという風に。お願いします。

○副会長

アンケートですが、ネットで出来ないかという話が出ていました。保護者の方から、保育所の発信する情報とか回答とか意見とかをネットにしてもらったら、もっと参加しやすいのという意見がちらほら聞かれます。紙ベースだと出しに行く時間もないし書く時間もない、という意見もあります。あと、働く保護者の方の働き方とか働く時間とかそういうのも本当に多種多様で、そんな働き方もあるのだ、そんな時間に働いているのだ、という事があります。こちらもいろいろな対応をしていかないといけないというのを実感しています。令和9年度から11年度の計画を7年度にたてるにあたって、今まで通りではない、何かを入れていかないといけないと考えています。

○会長

今回は手続き上ですけれど、次の世代になればネットになっていくのではないかなと思います。いろいろな働き方、項目そのものが、10年ぐらいたってきているので、難しくなっているのかもしれませんが。それによって施策の項目、量の見込みとか変わってくるかもしれません。それは変更が出来ますね。見直しをする、それを提案するのもこの会議の役目です。皆さんの方で、これはもう少し何とかならないか、という意見が、特に保護者の方から出た場合は、それに合わせて計画を変更するという事を考える機関です。ぜひ、実感ですとか、あれが変わっている、今こんな風で不具合がとか、制度があわなくなっているというようなことを出していただければと思います。

(保育の必要性の勤務時間)設定をするのに勤務時間が何時間というのがないと難しいので、働き方によって、何時間ですということは、働き方によって、このサービスが足りないとか、出てくるかと思います。そこを皆から出していただいて、より良い、育てやすい豊能町にするように、出来ると良いですね。

○委員

ネットの話です。ひかり幼稚園で、PTAの保護者に配布するアンケート等、QRコードを読み取ってGoogleホームで答えるというのがあるのですが、幼稚園でネット環境が弱い所があります。先生たちも苦労してがんばって、やってくださっています。今の時代に合わせて次の園でもネット環境が自由に使えるような環境にしていだきたいなという思いがあります。

○会長

ルーターを置くとネット環境をよくするという事ですね。

○委員

今日、この会議に出席するのに、自分の思いを考えてきたので、読ませていただきたいと思います。民営化と聞いた時に保護者の中で、今の先生たちがどうなるのか気になって、それを何故思うのかと考えました。ひかり幼稚園の保護者は日常的に、参観以外でも園内に入

って、子どもたちの様子を見ることが出来ています。その中で先生方が一生懸命子どもたちと向き合って取り組んでくださっているのを生で見ているのです。それで、そういう気持ちがあり、先生方がどうなるのかが気になっています。

参観以外に日常的に入らせてもらっているのは、ボランティア活動に取り組んでくださっていて、給食ボランティアとか、絵本ボランティアとか、幼稚園に自分が通っているぐらいのボランティア活動があります。それを先生がたくさん入れるようにしてくださっています。

これで保護者同士の繋がりも増えて、先生方が子どもたちに接している対応とか見て、こうするのだとか勉強になって、自分たちも保護者同士の繋がりで結構生き生き楽しく新しい友達がたくさんできた、みたいな感じで園児と一緒に生活しているという感じです。

他の私立幼稚園とかに行っているお母さんとかに聞いたら、園に通うことはほとんどなかったとおっしゃっていたし、小学校に上がると親同士の関わりがほとんどなくなってしまうので、このひかり幼稚園のよさを次の園でも引き継いでいただきたいという気持ちでいっぱいです。他のお母さん方もこのひかり幼稚園が好きだから引っ越してきたという方もおられたので、民営化と聞いて結構ショック受けられている方もいました。このよさは絶対に残していただきたいなと思っています。

○こども未来部長

私どもの豊能町立の幼稚園・保育所は非常にながらばって、保護者の方から、そういったご意見をいただくのは大変ありがたいと思います。以前、幼稚園の保幼連携公私連携型の認定こども園を提言いただいた時には、今までやってきた豊能町の保育教育をできる限り継承するという提言もいただいております。とともに先生方についても、今まで頑張っていた先生も、もちろんそれがすべていけるかどうかというのは、これからの交渉次第というところにもなるのですけれども、当然今まで尽力いただいた先生方についても、これからは豊能町の教育保育に協力いただいて、共に今まで培われた教育保育については、出来るだけ継承して豊能町の教育保育という形でやっていけるように、幼稚園保育所の今後の民営化についても、そういう形で選べるように、なおかつ業者が決定した後でも、保護者代表の方と一緒に、町と保護者代表の方と新しい事業者とが一体となって豊能町にふさわしい、認定こども園を作っていけるように頑張っていきたいと思っています。

○会長

ボランティアですが、給食をいただく時にお母様方が(準備して)食べさせていただいて、その雰囲気が継続して、豊能町からもありましたけれども続けてほしいということで、公私連携と職員の方、先生方の中には非常勤の方もいらっしゃいますが、他の自治体でもですね、そのまま、その園に残ってとか、逆に正規採用でその法人に雇われてとかのケースもあります。

また、公私連携の時には派遣のような形で公立の先生がしばらく園に残って、継承していくという事もあります。

いろいろなやり方がありますので、今日言っていたように、よさを残すという事が前の審議会でも一番のポイントでしたので、そこをしっかりと受け止めて、向こうと相談しながらすすめていきたいですね。

選定がされて決まったら、お互いに園の見学をしたりとか、保育感を語り合ったりとか、そういうことがなされると思います。だから、保護者の方も、こんな思いというのを聞いていただくことによって、良いところをお互い取り合わせあいながら良い園にできたらなと思います。

今日は、力強いご意見、ありがとうございました。

これから計画をたてていきますが、ご意見いただいた、病気の時大変とか、(3園所が)元気なのはそのままとかを継承しながら、特に来年度はすすめて行きたいと思っています。

他に皆様の方から、何か思われた事でも結構ですし、よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

○こども育成課長

今年度の審議会は本日のみの予定です。3月末までの間に、ご審議いただく案件が生じましたら改めてご連絡をさせていただきます。来年度は5月か6月頃に、第1回の審議会を開催し、「第3期豊能町子ども・子育て支援事業計画」の策定を進めていく予定です。委員の皆様には、日時が確定次第お知らせいたします。

○会長

今の説明について、ご質問等ありますでしょうか？

以上をもちまして、令和5年度子ども・子育て審議会を閉会したいと思います。
ありがとうございました。

閉会 午後3時36分